

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第 50 号

- 2014 年 3 月 -

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 鈴木勝雄
連絡先 045-210-1111 (代)
神奈川県青少年課内
印刷 亜細亜工業写真株式会社
045-441-7354

地域で育てよう! 青少年。

神奈川県青少年指導員連絡協議会会長 鈴木 勝雄



神奈川県では昭和 43 年に青少年指導員が制度化されました。また、平成 22 年に神奈川県青少年保護育成条例が全面改正され、青少年指導員の活動が条例として位置づけられました。

私達への期待の増大を感じると共に、地域から更なる認知と協力を得て活動していくことが必要だと考えています。

青少年指導員の機関紙「つばさ」は平成元年から発行し、第 45 号から A4 版にリニューアル、さらに第 47 号からはホームページでの掲載がカラーとなり、誰でも閲覧可能な状態です。

今後は、新しいキャッチコピーの『地域で育てよう! 青少年。』等を活用し、顔の見える青少年指導員の活動を PR して頂きたいと思えます。

「つばさ」第 100 号にはどんな記事が載っているか、今から楽しみです。



第46回「神奈川県青少年指導員大会」開催

第 46 回神奈川県青少年指導員大会が、平成 25 年 11 月 24 日、逗子市文化プラザホールで 500 人を越える参加者を迎えて開催されました。

海南神社祭り囃子保存会「楽囃会(らくそうかい)」の皆さんの太鼓と笛のオープニングで大会の幕を開け、小林壽志大会実行委員長の開会宣言の後、県青少年指導員連絡協議会の鈴木勝雄会長、神奈川県の吉川伸治副知事、逗子市の平井竜一市長から挨拶がありました。

鈴木会長は、この大会が「青少年にどのように思いを伝え、思いを理解できるか、日ごろの活動を考えるよい機会になる」と述べました。

続いて、60 名の皆様が青少年指導員表彰を受賞され、感謝状が贈呈されました。来賓の県議会県民企業常任委

員会委員長の塩坂議員からご祝辞をいただくとともに、会場からも惜しめない拍手が送られました。

活動事例発表は、横須賀市と逗子市から行われ、青少年指導員が長年にわたって続けてきた行事が紹介され、「地域の特徴ある活動を知る良い機会になった。今後の参考にしたい」などの声を多数いただきました。

続いて、日本ペップトーク普及協会の岩崎由純氏を講師に迎え「元気・活気・勇気を与えるトーク術」をテーマに講演をいただきました。ペップトークとは、短く・わかりやすい前向きな言葉がけのことです。スポーツ現場での経験を基に、成功のイメージを共有し、成功しても失敗しても結果を受け入れ、何よりもまず「自分自身がポジティブになって必ず幸せになれると信じて接すること」が大切だと、熱く語られました。

次回、県西地域大会の実行委員長である高島委員長から来年度の大会のご案内の後、出口副実行委員長による閉会の言葉で大会の幕を閉じました。



主催者挨拶



オープニング